

税の役割と財政

租税教育キャラクター

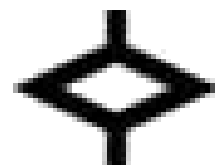


ゼイタくん ゼイナちゃん



税務署とは？

- 「税」に関する仕事（国税の賦課、徴収）を行う機関
- 全国に524（近畿には83）の税務署
- 納税者と最も密接なつながりを持つ「税の窓口」
- 地図記号は「そろばん」の珠の形が由来

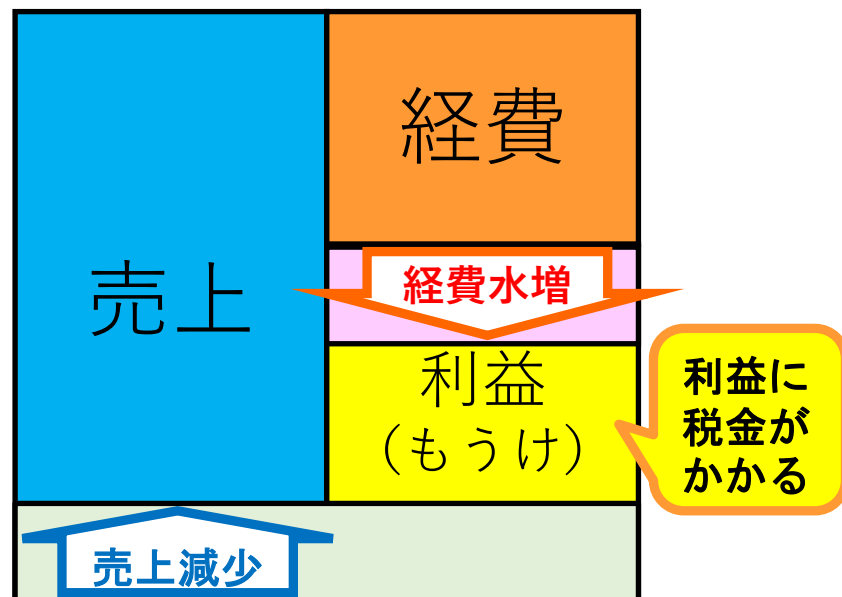


公平な賦課及び徴収

脱税とは？

税金をごまかして少なく納めたりすること

例えば、売上の金額を少なく計算したり、買っていないものを経費とするなどして、**もうけたお金の金額を**実際より少なく見せかけること



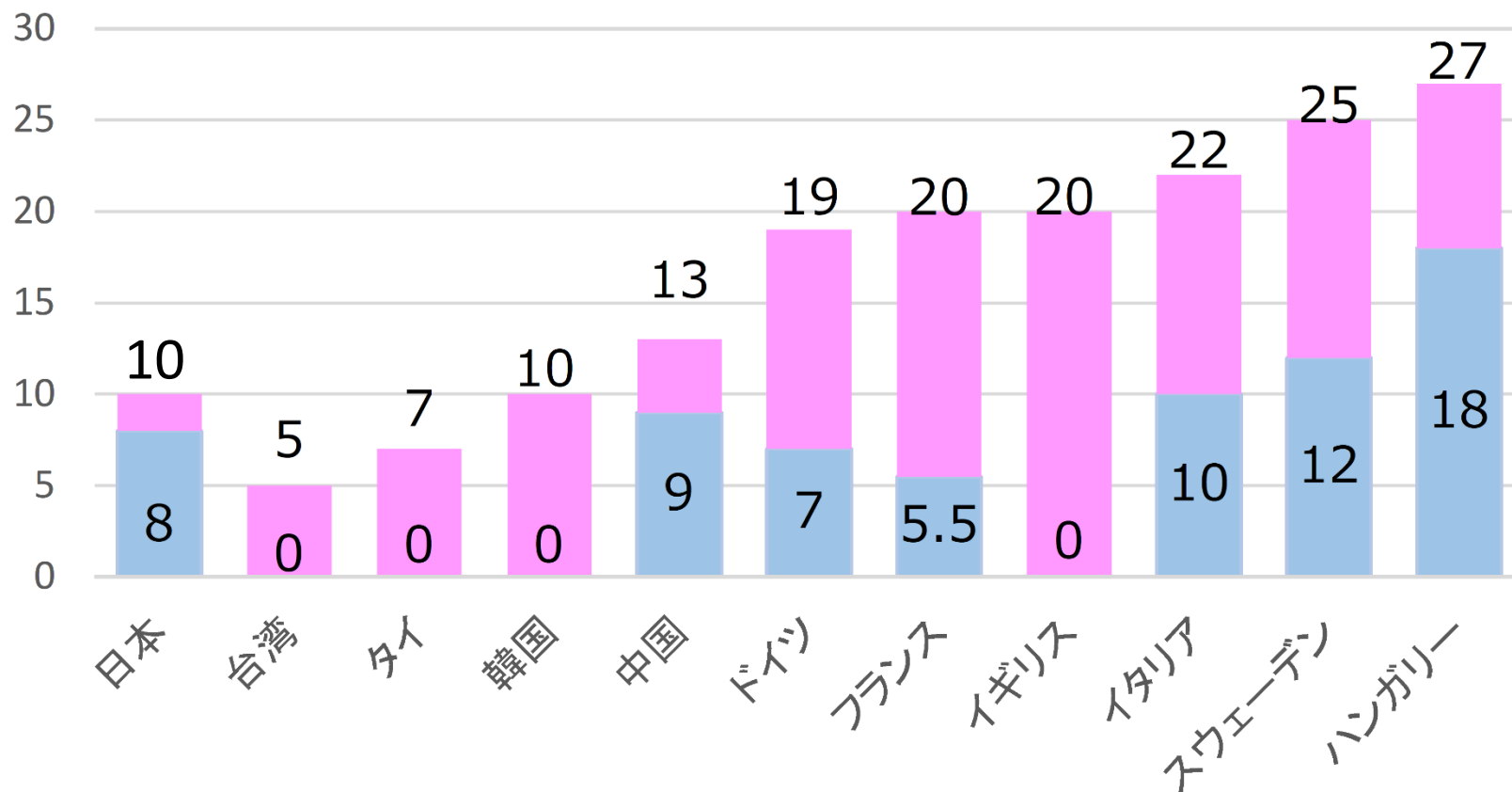
脱税した人はどうなる？

正しい金額の税金を納めてもらいます

特に**悪質な人**は、正しい金額の税金を納めるだけでなく、**裁判**にかけられ、判決によっては**罰金**を払ったり、**刑務所**に入れられます

消費税(付加価値税)の国債比較

消費税（付加価値税）はフランスで1954年に初めて導入されましたが、これと同じような税は全世界150以上の国・地域で採用されています。



税金の種類

【主な税金の種類】

(③所得課税：青 消費課税：黒 資産課税等：茶)

		②直接税	②間接税
①国税		所得税 法人税 復興特別所得税 地方法人税 相続税 贈与税	消費税 酒税 揮発油税 石油石炭税 石油ガス税 関税 航空機燃料税 たばこ税 自動車重量税 とん税 印紙税 登録免許税
①地方税	都税・道府県税	都道府県民税 事業税 自動車税 狩猟税 不動産取得税 固定資産税	地方消費税 都道府県たばこ税 ゴルフ場利用税 軽油引取税
	市町村税	市町村民税 軽自動車税 固定資産税 事業所税 都市計画税	市町村たばこ税 入湯税

磯 ○ 家

④持ち家→**固定資産税**

②お給料→**所得税(住民税)**

⑥亡くなる→**相続税**

波平

(サラリーマン)

フネ

③お酒 → **酒税**

⑤500万円もらいました→**贈与税**

マスオ

(サラリーマン)

サザエ

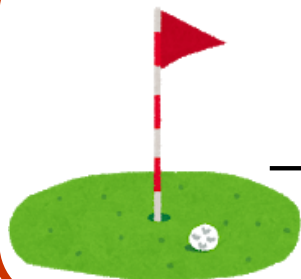
カツオ

ワカメ

タラオ

①お菓子を買う→ **消費税・
地方消費税**

タマ



⑦ゴルフをする
→**ゴルフ場利用税**



⑧温泉に入る
→**入湯税**

ではここで、
みなさんを税金のない世界
～アナザーワールド～
へ御案内します。

わかりやすい税制を考えよう！！

- ・ なぜこんなにたくさんの税金があるのか？
- ・ もっと単純な税の制度にすれば、国民にわかりやすく

「難しそう」というイメージもなくなるのでは！

① グループを作る

② 国民A・国民B・国民Cが公平と思える 税制を議論

【注意事項！】

- ・ グループで話し合って、税制度を決定
- ・ ①～⑤の税制の中から、一つ選択（理由も考える）
- ・ 国民に「公平」な税制度を決定すること

税金で300万円を集めよう！

区分	所得	①	②	③	④	⑤
		同額ずつ	A だけ	30%	累進課税	それ以外
A	700 万円	100 万円	300 万円	210 万円	35% → 245 万円	
B	250 万円	100 万円	0 万円	75 万円	30% → 50 万円	
C	50 万円	100 万円	0 円	15 万円	10% → 5 万円	
合計	1,000 万円	300 万円	300 万円	300 万円	300 万円	

会議時間は3分(スタート)
 国民が公平と思える税制
 [注意] A、B、Cの3人

- 1つの国として①～④の税制の中で最も国民に公平な課税方法を選択
- ①～④以外の課税方法とする場合は⑤選択（具体的な課税方法を考える）
- なぜその課税方法を選択したのか、その理由も記載

区分	所得	①	
		同額ずつ	残額
A	700万円	100万円	600万円 
B	250万円	100万円	150万円 
C	50万円	100万円	 $\Delta 50$ 万円
合計	1,000万円	300万円	700万円

・ 全員同額

・ 公平なように思えるが...

・ Cは所得以上の負担
借金して税金を支払う

少し極端な課税方法

稼ぎにかかわらず同額で課税
稼ぎの少ない人に影響が大きい

区分	所得	②	
		Aだけ	残額
A	700万円	300万円	400万円 
B	250万円	0円 	250万円
C	50万円	0円 	50万円
合計	1,000万円	300万円	700万円

- ・ 最も所得の高いAのみ課税
- ・ Aの残額は、Bの250万円より多く、B、Cからすれば公平
- ・ Aにとっては不公平

稼ぎが多い人だけ、たくさん支払う
 稼ぎが多い人から見ると不公平

区分	所得	③	
		30%	残額
A	700万円	210万円	490万円 
B	250万円	75万円	175万円 
C	50万円	15万円	35万円 
合計	1,000万円	300万円	700万円

・ 同率で課税、一見公平

・ A、B、Cを感じる30%はそれぞれ違う

・ 仮に生活費が最低40万円必要とすれば、Cは生活費が払えない

稼ぎが多さにかかわらず同率で課税
稼ぎの少ない人に影響が大きい

区分	所得	④	
		累進課税	残額
A	700万円	35% → 245万円	455万円 
B	250万円	20% → 50万円	200万円 
C	50万円	10% → 5万円	45万円 
合計	1,000万円	300万円	700万円

・ 高い所得の人からは高い税金、低い所得の人からは低い税金

・ 一見公平に見えるが...

・ 働けば働くほど納める税金が高くなる
⇒ 働かないほうが...

**稼ぎが多い人から多く、少ない人からは少なく
稼ぎの多い(人よいたくさん努力)人が、多く負担するのは公平？ 働く意欲が低下**

日本の税制（イメージ）

区分	所得	同額 ずつ	Aだけ	定率 (10%)	累進課税	負担額	残額
A	700万円	1万円	14万円	70万円	19% ➡ 133万円	218万円	482万円
B	250万円	1万円	0円	25万円	18% ➡ 45万円	71万円	179万円
C	50万円	1万円	0円	5万円	10% ➡ 5万円	11万円	39万円
合計	1,000万円	3万円	14万円	100万円	183万円	300万円	700万円

【例】

- 「同額ずつ」 = 消費税（生活必需品の購入）など
- 「Aだけ」 = 固定資産税（土地所有者のみ課税）、自動車税など
- 「10%」 = 法人税、住民税など
- 「累進課税」 = 所得税（5%～45%の累進課税）、相続税など

公平に負担するってどんなこと？

- みんなが同額を負担する
- 負担能力に応じて負担する
- 働く世代が負担する
- 全ての世代が負担する

生活が苦しい人も同じ額？

負担能力のある人に頼りすぎると...

働く意欲が...

収入のない人も負担するの？

立場が変われば

不公平に感じる人が出てくるんだね

税の役割

- 私たちが健康で文化的な生活を送るための
「社会の会費」のようなもの
「みんなのために役立つ施設」
「助け合いのための活動」のために
必要なたくさんの費用を、みんなで負担する
⇒ **「支え合い」**により成り立っている社会



暮らしの中の税

警察費・消防費

(2017年度)

約5兆2,666億円

国民1人当たり約4万1,600円



国民医療費の公費負担額

(2017年度)

16兆5,181億円

国民1人当たり約13万400円



ゴミ処理費用

(2017年度)

約2兆3,202億円

国民1人当たり約1万8,300円



公共サービス

公共施設

消防車

ポンプ車約1,300万円～

高層用はしご車

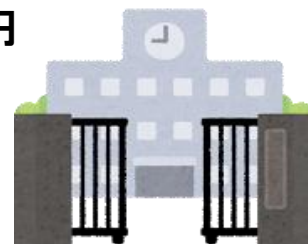
約1億6,000万円



学校

1校当たり平均建設費

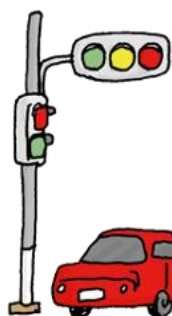
約13億円



信号機

全国に約21万基

1基当たり240 ～470万円



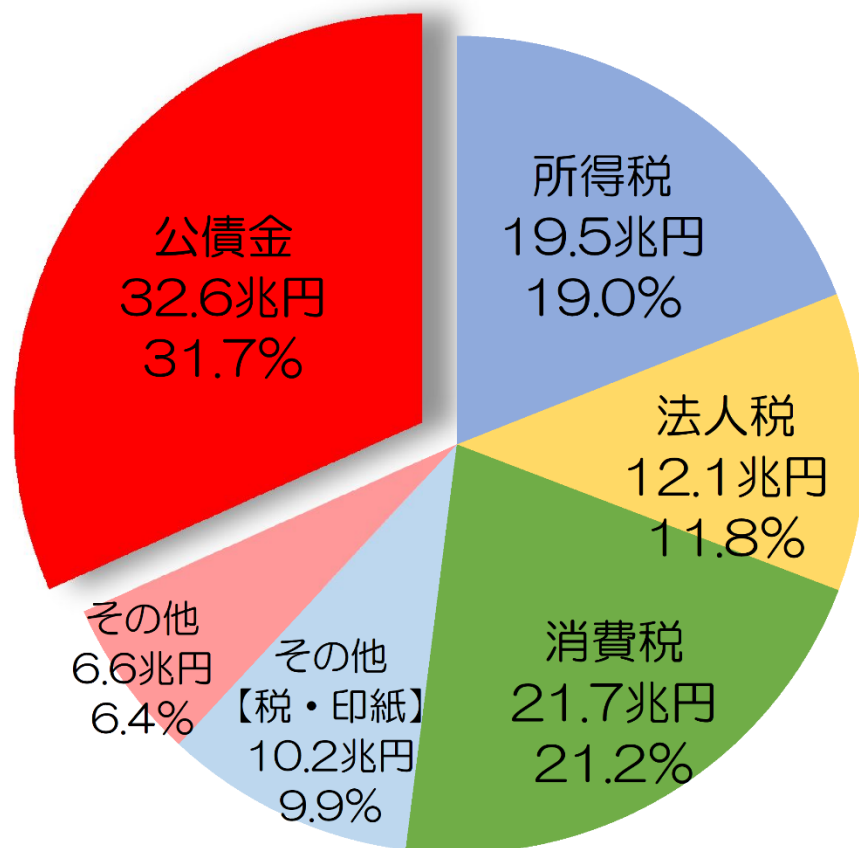
公園や図書館



国の予算(2020年度:歳入と歳出)

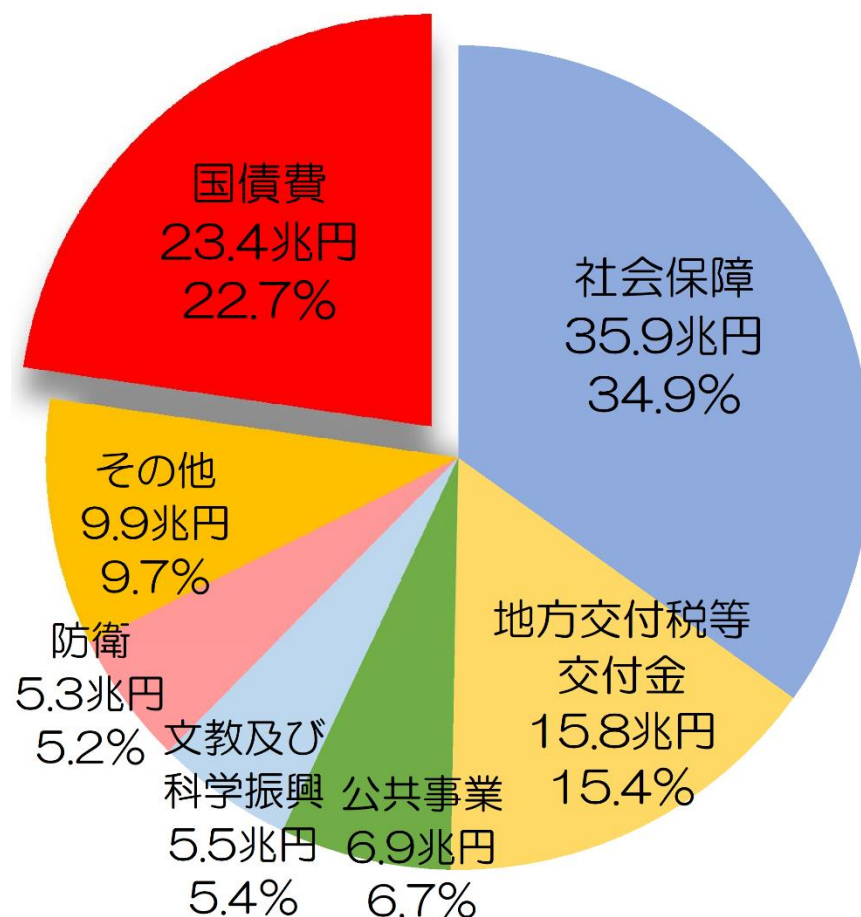
【歳入】

【総額 102兆円】



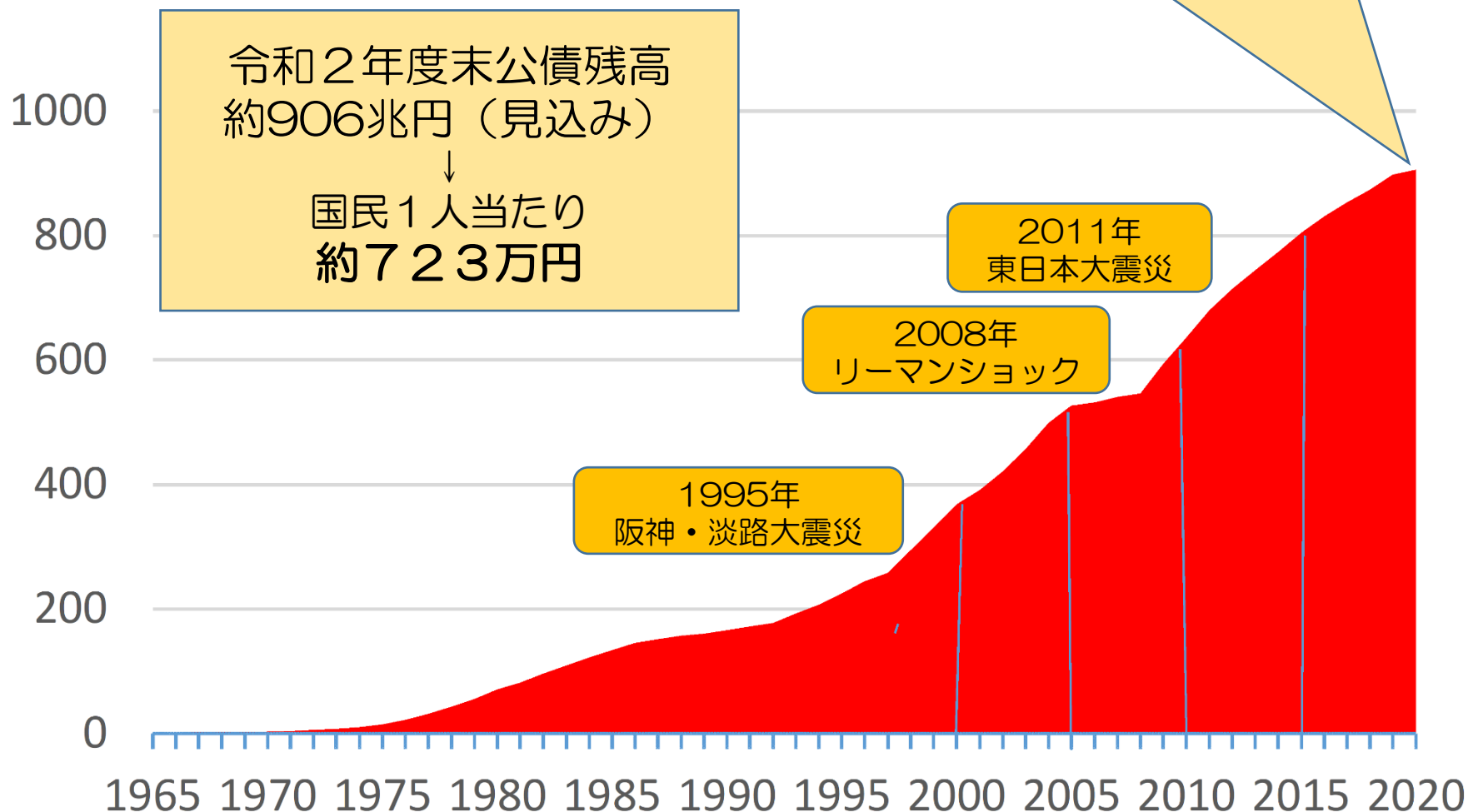
【歳出】

【総額 102兆円】



課題①（公債残高）

一般会計税収の約14年分に相当
(令和2年度一般会計税収予想額：約64兆円)



国の予算を家計にたとえると・・・！

令和2年度財政状況

〈収入〉	
税収＋税外収入	70.1兆円
〈支出〉	
基礎的財政収支対象経費	79.3兆円
うち地方交付税等	15.8兆円
国債費	23.4兆円
支出計	102.7兆円

公債金収入（借金）	32.6兆円
-----------	--------

1ヶ月分の家計に例えた場合

〈収入〉	
月収	30万円
〈支出〉	
家計費	34万円
うち仕送り	7万円
ローン元利返済	10万円
支出計	44万円

不足分（借金）	14万円
---------	------

こうした借金が累積して、年度末には・・・

公債残高	906兆円
------	-------

ローン残高	4653万円
-------	--------

課題②（少子高齢化）

働き手（20～64歳）と高齢者（65歳以上）の比率

1975年 7.7人分の1 ➡ 2000年 3.6人分の1 ➡ 2025年 1.8人分の1 ➡ 2050年 1.3人分の1

問題点

少子化等による働き手の減少
に伴い税収が低下



このままだと・・・
公共サービスの質の低下



日本の将来は国民が決める！

税に関する法律（税負担の方法）と税の使い道（予算）は国民の代表者である議員が国会（地方の場合は地方議会）で決めています。



まとめ

- 税の役割とは
 - ・ どんなことに使われている？
- 豊かで安心して暮らせる未来のために、
公平な租税負担と給付（サービス）の関係を考える
- 我が国の財政上の問題点
 - ・ 赤字財政、公債残高の累積
 - ・ 少子高齢化
- 日本がどのような方向に進むかの選択は、自分が「選挙」という形で選ぶ

豊かで安心して暮らせる未来のために
税のことを考えていきましょう！

